

箱根外輪山

矢倉岳～金時山

日程：2015年6月1日（月）曇り

メンバー：大塚（L）赤澤、近藤、齊藤光子、星野

報告：星野 眞知子

☆今回のテーマ 深緑の古道を相模路から箱根へ越え往時の往還を偲ぶ

新宿発の電車は沿線に学校が多く通勤通学客が乗車下車を繰り返して、新松田着の車両からは学生軍団が一斉に改札に向かう。その流れに流されて集合場所と反対側の出口へ出てしまった。

新松田 8:45 分発のバスはウィークデーでもあり少ない乗客で静かに発車した。矢倉沢着 9:15 分。出発前にトイレ、身支度を整えて無人販売所でちっちゃい金柑を求め（種が無く甘かった）梅雨入り前の泣き出しそうな雨空の下を出発。畑作業の婦人に朝の挨拶をして光子さんとお喋りをしながら歩いていると「オーイこっちだよ」と呼ばれる。女性は話に夢中、男性は思い込みで道標を見落とすとの戒めを思い出す。

5カ月のブランクで衰えた脚力に増えた体重をのせ坂道に喘ぐもずっと坂道。山道に入ってもますます傾斜が加わる。衣服調整、水分補給時に深緑に目をやり大きく息をして一步を踏み出す繰り返す。すっかり無口になってしまい始めの一步、はじめの一步と唱えながらの足運びをしていると様子が変わり平坦になる。あれ？これは見覚えがある、もう頂上かな、間違いなく矢倉岳に飛び出した。また嬉しい事に予約なしの貸し切り劇場。トップスターの富士山は残念ながらお隠れ、目の前の金時山がおいでおいでと誘うがあそこまで行けるやら・・・大涌谷の噴煙を見ながらランチを済ませて足柄峠に向かう。



(貸切お座敷の矢倉岳山頂)



(警戒レベル3になった大涌谷の噴煙)

下りもキツイ、靴ひもを締め直して二度生えの再生ホヤホヤの親指小指の爪を庇う。万葉公園はいつも響き良く通りすぎた短い距離にも万葉の歌や往時を偲ぶ風情がある。途中の足柄明神に近藤さんと寄ってみたら白鹿が前脚を上げて立っており、「謂れも意味もわからん」と毒

づいて足柄の関へ。

鬱蒼とした場所に悪業や関所破りの処刑塚があって汗がひいた。夕日の滝への分岐を過ぎ、未だかまだかと歩くと14:15分金時山への階段口に着く。965段、上を見ないぞと足元に目を落として自分と格闘しながら1段ずつ足を運ぶ。

14:50分、金時山頂着。週末は大混雑のてっぺんもネコさんがそっと寄ってきて迎えてくれる。お下げ髪の金時娘の営業する金時茶屋は休みで金太郎茶屋が開いていた。マサカリとの記念写真も独り占めだが、並び人がいないと振り向きもしないあまのじゃく。

山頂で25分程ゆっくりして下りにかかる。金時神社分岐、矢倉沢峠と下り金時山登山(下山)口16:10着~仙石バス停着16:20~5分ほどで小田原行きのバスに乗る事ができ駅に出て打ち上げ後解散と相成りました。

今までは矢倉岳と金時山は一山ずつ登っていたので歩けるかとても不安だったコースですが、歩き終わると修験者の心境になり自己満足をしています。リーダー、皆さん大変お世話になりました。

<コースタイム>

新松田発8:45~矢倉沢着9:15 同発9:25~矢倉岳着11:10(昼食)同発11:40~足柄峠13:00~金時山着14:50~金時山登山(下山)口着16:10~仙石原バス停着16:20~小田原行きバス発16:25~小田原